

BVJ71□□H(□□は防排煙回線数)・BZJ11

- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。**取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 万一、取扱説明書にしたがわず使用された場合の故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

取り扱いについてのご注意

- 平常時には次のことを守ってください。連動操作盤の取り扱いを誤ると火災時に正しく動作せず、避難や消火活動が大幅に遅れるおそれがあります。
 - 連動操作盤を音響強制停止状態にしない。
 - 電源スイッチや電池を切らない。
 - 正常な監視状態にあるか確認する。(平常時の連動操作盤の状態を参照)
- 警報が鳴ったら、まず現場を確認してください。

火災の場合	<ul style="list-style-type: none"> ●119番などに通報する。 ●避難誘導および、可能であれば初期消火をする。
火災でない場合	<ul style="list-style-type: none"> ●発生原因がわかれば取り除く。 ●発生原因不明のときは点検契約店に連絡し、再発防止を施す。

連動操作盤の扉を開けるときのご注意


180°以上、扉を開けると扉の変形や他の物品を破損するおそれがあるので注意してください。


ご使用前に

- この設備は、火災感知器などからの信号を受けて防火戸などを自動的に作動させる働きをします。したがって、この設備は消火を行うものではありません。万一の火災などによる損害については、責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- この設備は皆様の生命・財産を火災から守るための大切な設備です。取扱説明書をよく読み、各機器の正しい取り扱いを理解して、緊急時に備えてください。
- この設備は、常に正常な状態を維持するよう、有資格者による定期点検を行ってください。(定期点検は、施工様と施工店または点検契約店でご契約ください。)



安全上のご注意

必ずお守りください

警告	
	<p>機器を分解したり、修理・改造しない。 故障の原因となります。</p> <p>防火管理者および消防設備士などの資格者以外は連動操作盤内部に手を触れない。 感電・故障の原因となります。</p> <p>ぬれた手で連動操作盤をさわったり、水をつけたり、水をかけない。 感電・故障の原因となります。</p> <p>感知器は絶対に取りはずさない。 出火時に火災発見ができません。</p> <p>防火戸・シャッター・防煙たれ壁などの近くに、物を置かない。 火災時に所定の機能を発揮できず、被害が拡大するおそれがあります。</p> <p>点検用スイッチカバー内にあるスイッチは操作しない。 (点検資格者、消防設備士が操作するところです。)</p>

注意	
	<p>連動操作盤のスイッチなどが正常な監視状態にあるか確認する。 正常な監視状態でないとき火災時に正しく動作しません。</p> <p>点検用スイッチカバーは必ず閉じる。 引っ掛けてケガをしたり、誤操作の原因となります。</p>

(予備電源(ニカド電池)取り扱い上のご注意)

注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ●電池は絶対に分解しない。 電解液は強アルカリ性ですので、皮膚や衣類をいためたりします。 ●交換した電池は、火中に投入しない。 電池が破裂する場合があります。危険です。電池はリサイクルに協力してください。
	<p>コネクタは極性を守って正しく差し込む。 逆に差し込むと電池のふくれや破裂の危険性があります。</p>

施工説明書別添付 保管用 屋内専用

ご使用になる皆様へ

露出型:BVJ71□□H(□□は防排煙回線数)
埋込型内器:BZJ11

こんなときは

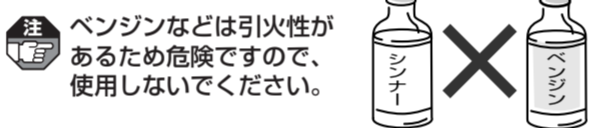
- 下記のような場合、消防法に適合しなくなったり、この設備が正常に機能しなくなるおそれがありますので、定期点検の時期まで待たずに、点検契約店にご連絡ください。

増改築	修繕	塗りかえ
●増築や改装をしたとき	●建物を修繕したとき	●天井や壁を塗りかえたとき

設備工事	電気・ガス・水道工事	天災被害
●設備の工事をしたとき	●電気・ガス・水道工事をしたとき	●台風・雷・地震などの被害を受けたとき

お手入れ方法

- 表面が汚れた場合は、次の方法でお手入れください。
 - ふだんのおそうじは、やわらかい布でふき取ってください。
 - 汚れが目立つときは、中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
 - 化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書にしたがってください。



平常時の連動操作盤の状態

●火災が発生したとき、連動操作盤が正常に動作するよう、平常時は下記の状態であることをお確かめください。

- 平常時において下記の状態とならない場合、「異常時の点検・処置」(裏面)の内容を確認のうえ、点検契約店にご連絡ください。
- 交流電源灯……点灯(緑) ■警戒中灯……点灯(緑) 左記以外はすべて消灯

各部のなまえとはたらき

地区灯(赤)

- 「点灯」で防火戸などの入力
- 「早点滅」で火災試験、防排煙個別起動制御時、防排煙個別復帰制御時の回線選択時
- 「中点滅」で防火戸などの未作動
- 「遅点滅」で感知器配線の断線
- 「特殊点滅」で防排煙感知器の作動(防排煙連動設定がOFF設定時のみ)

交流電源灯(緑) (平常時点灯していること)

交流電源が入っていることを、点灯で知らせます。

トラブル灯(赤)

連動操作盤または配線に異常が起きたとき、点滅で知らせます。点滅時は、施工店または点検契約店へ連絡してください。(異常の内容は液晶表示部で確認できます。)

スイッチ注意灯(赤)

いずれかのスイッチが通常の状態でないとき、点滅で知らせます。

音響強制停止灯(赤) ※1

主音響の「強制停止」状態が作動していると点滅で知らせます。

防排煙連動停止灯(赤)

防火戸などが連動しない状態であることを点滅で知らせます。

※1:点検時音響鳴動動作中は早点滅に変わります。

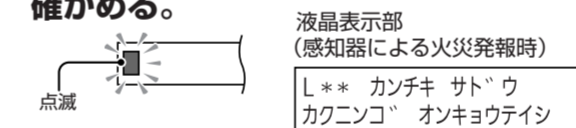
復旧スイッチ

押すと防排煙灯・地区灯が消灯し、主音響が止まり、通常の監視状態に戻ります。

連動操作盤が警報した場合

●主音響が鳴ったら、次の手順で操作してください。

1 地区灯(赤)の点灯、または点滅位置によってどこで火災が起きているか確かめる。



2 受信機音響停止スイッチを押し、主音響を止める。



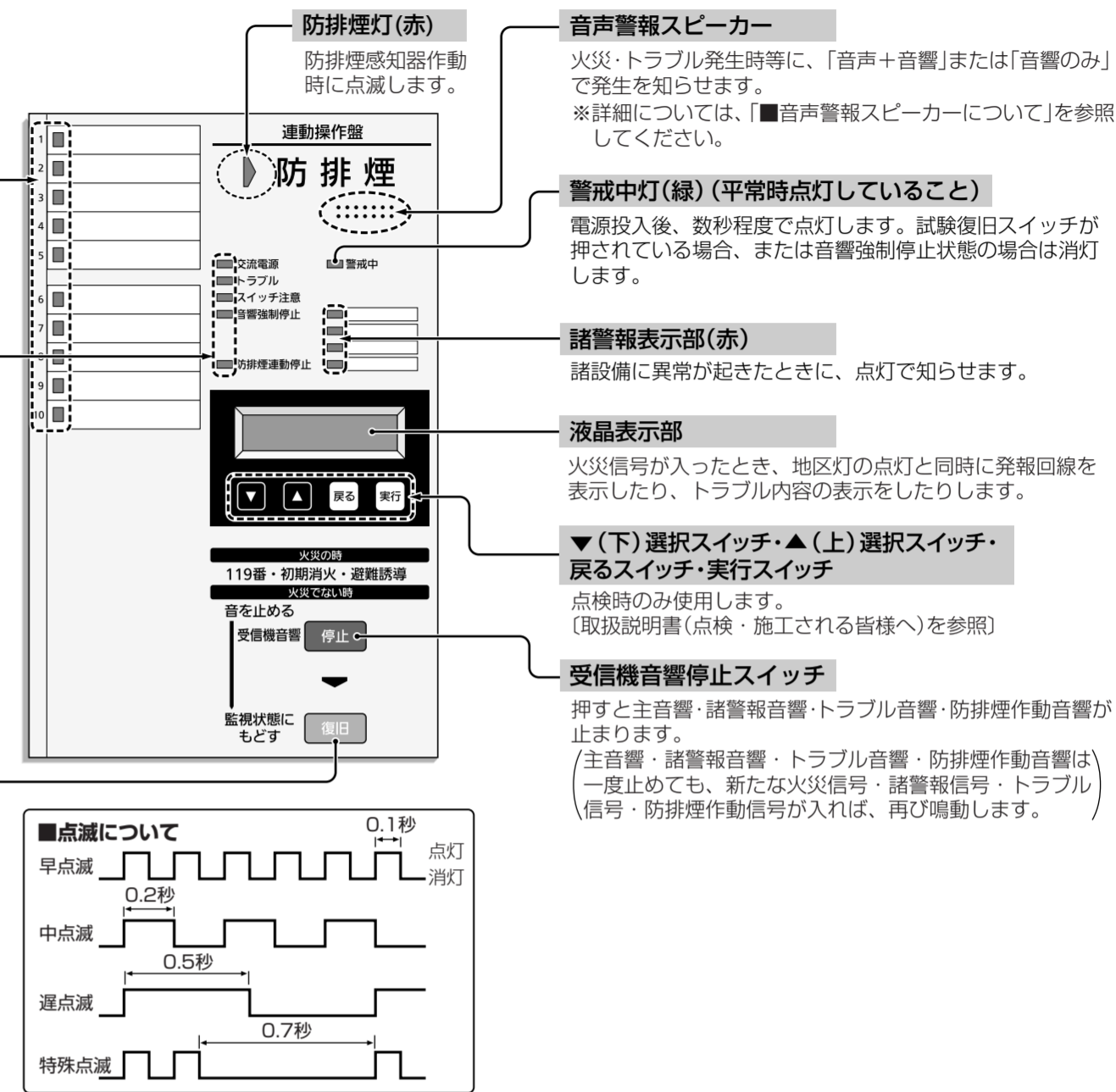
3 出火場所へ行き状況を確認する。

火災の場合

4 119番に通報する。

その後、可能であれば避難誘導や初期消火など適切な処置をする。

5 火災鎮火後、復旧スイッチを押して通常の監視状態に戻す。



火災でない場合

4 地区灯の点灯、または点滅している場所で、次の状況を確認処置する。

感知器が作動していないか?

- 確認灯付感知器の場合、作動した感知器の確認灯が点灯します。
- 熱感知器の場合、ストーブなど暖房の熱が直接当たったり、感熱部が変化すると作動することもあります。

5 復旧スイッチを押し、地区灯と防排煙灯、液晶表示部が消えるか確かめる。

- 感知器の確認灯も消えます。
- ※地区灯・防排煙灯が消えない場合はもう一度**4**の手順を繰り返してください。

6 通常の監視状態に戻る。

地区灯・防排煙灯が消えない場合や処置できない場合は、点検契約店へご連絡ください。

音声警報スピーカーについて

連動操作盤の状態	音響	音声(※1)
防排煙感知器作動音響	ビービービービー	〇〇階で(△△回線で)(※2)火災感知器が作動しました。現場を確認してください。(女性の声)
トラブル時	ビー	トラブルが発生しました。(女性の声)
諸警報入力・防火戸などの作動	ブーブーブーブー(※3)	—
蓄積開始時(1回のみ)(※4)	ブーブー	—

※1 設定により、音声をなくして音響のみを鳴動させる設定もできます。
※2 設定により、発報階・発報回線・場所なしの切替設定ができます。
※3 設定により、鳴動させない設定ができます。(出荷時設定「鳴動する」)
※4 設定により、鳴動させる設定ができます。(出荷時設定「鳴動しない」)
各種設定については施工店・点検契約店にご相談ください。

異常時の点検・処置

警告



この設備に異常があるときは以下の点検・処置をしてください。異常を放置すると火災時に警報が出ないため避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。

- 以下の異常状態のときは、取り扱いされる方が点検・処置をしてください。正常に戻らなかった場合は、施工店または点検契約店に連絡してください。

状態	点検	処置
交流電源灯が消灯している。	防排煙設備専用ブレーカーが「切(OFF)」側になっていないか？	専用ブレーカーを「入(ON)」側にする。
警戒中灯が消灯し、操作部のすべての表示灯が点灯している。	煙感知器の近くに調理の煙・水蒸気・ホコリなどが滞留していないか？	煙・水蒸気などを取り除き、復旧スイッチを押す。
火災でないのに警報動作をする。	熱感知器の近くにストーブなど暖房の熱が直接当たっていないか？	熱などを取り除き、復旧スイッチを押す。
諸警報表示部が点灯し、諸警報音響もしくはトラブル音響が鳴動している。	諸警報表示部の点灯位置によって、異常内容を確認する。	異常が起きた設備の状況を確認し、施工店または点検契約店へ連絡する。

- 以下の異常状態のときは、施工店または点検契約店に連絡してください。

状態	点検	処置
交流電源灯が消灯している。	連動操作盤内の交流電源スイッチが「切(OFF)」側になっていないか？ AC100V配線が断線していないか？ 交流一次側ヒューズ(F1・F2)が切れていないか？	連動操作盤内の交流電源スイッチを「入(ON)」側にする。 配線を直す。 連動操作盤内部の異常です。施工店または点検契約店に連絡してください。
警戒中灯が消灯している。	音響強制停止灯(赤)が点滅していないか？ 試験復旧灯(赤)が点滅していないか？	音響強制停止状態を解除する。 試験復旧スイッチを押す。
火災でないのに警報動作している。	感知器配線が短絡または絶縁劣化していないか？ 火災以外の原因はないか？	配線を直す、感知器を確認する。 日常点検をする。
火災復旧状態で復旧スイッチを押しても復旧しない。	感知器が作動状態になっていないか？	感知器から熱または煙を取り除く。
操作表示部の警戒中灯以外のすべてのランプが点灯し、液晶表示部に「トラブルドウサフノウ」が表示している。	防排煙設備専用ブレーカーが「切(OFF)」側になっていないか？ 連動操作盤内の交流電源スイッチが「切(OFF)」側になっていないか？ 交流一次側ヒューズ(F1・F2)が切れていないか？ 停電などにより交流電源が切れていないか？ 副受信機電源(DI+、DI-)が20.4V以上あるか？	専用ブレーカーを「入(ON)」側にする。 連動操作盤内の交流電源スイッチを「入(ON)」側にする。 連動操作盤内部の異常です。施工店または点検契約店に連絡してください。 停電状態が復電するまで待つ。 連動操作盤内部の電源回路が異常です。施工店または点検契約店に連絡する。
トラブル灯が点滅、トラブル音響が鳴動し、液晶表示部に「トラブル***」が表示している。	トラブル確認操作により、トラブル内容・発生場所を確認する。 (トラブル確認操作については取扱説明書(点検・施工される皆様へ)の「トラブル確認の方法」を参照してください。)	「トラブル確認の方法」ページの該当項目の点検・処置を行う。
(DL-DC)配線の終端抵抗器をはずしても断線表示しない。	終端抵抗器設定が正しく設定されているか？ 該当回線があき回線登録されていないか？ 該当回線の回線種別が警報回線に設定されていないか？	終端抵抗器設定を確認する。詳しくは設定マニュアルを参照してください。 指定の終端抵抗器を接続した状態であき回線登録を再度行う。 回線種別設定を確認する。詳しくは設定マニュアルを参照してください。(回線種別が警報回線の場合は断線表示はしません。)

連絡先一覧表

施工店や点検契約店など、記入されておくと便利です。

点検契約店	TEL
施工店	TEL
設備竣工	年 月 日

アフターサービス

使い方・お手入れ・修理などは、まず施工店へご相談ください。なお、相談先で困りの場合は、次のご相談窓口にご連絡ください。

商品のお問い合わせ

電設資材商品ご相談窓口

【受付時間】月～土 / 9:00～18:00 (祝日・三が日を除く)

個人のお客様 0120-878-082 ※携帯電話からもご利用になれます。

●上記番号がご利用いただけない場合は…**06-6780-2551**

法人のお客様 0120-187-431

●上記番号がご利用いただけない場合は…**06-6904-4574**

●FAX…**03 0120-872-460**

<https://sumai.panasonic.jp/support/>

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理のご用命は

修理ご相談窓口 ※インターネットでの依頼も可能です。

【受付時間】月～土 / 9:00～19:00 日・祝日・年末年始 / 9:00～18:00

※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-150

●上記番号がご利用いただけない場合は…**06-6906-1090**

<https://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

※ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。上記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

内部回路図

●ご注意

●蓄積型感知器の接続はできません。

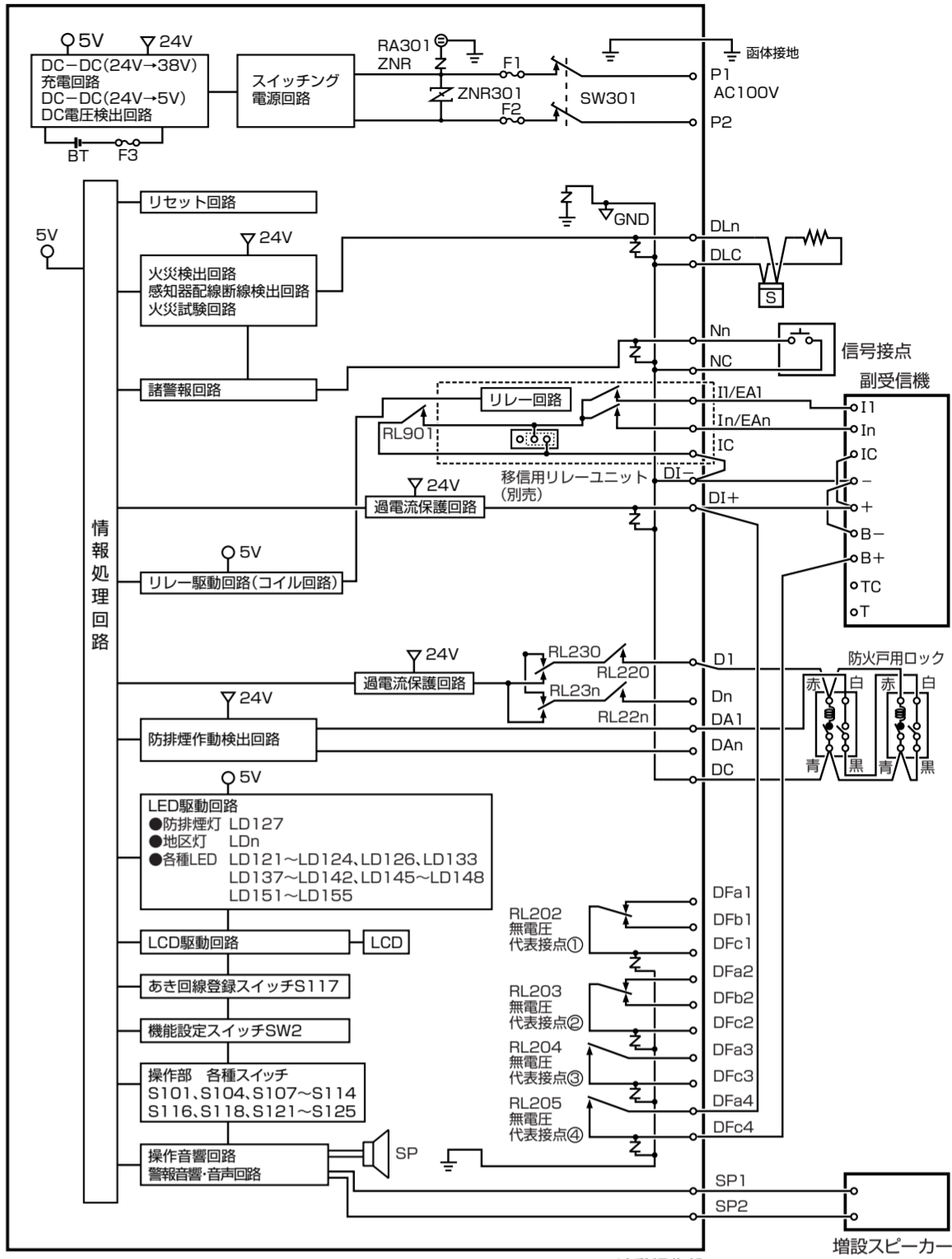
●適用品番 BVJ71□□H(□は防排煙回線数)、BZJ11

記号	名称
SW301	交流電源スイッチ
F1,F2	電源一次ヒューズ
F3	電池ヒューズ
BT	電池
SP	音声警報スピーカー
LCD	液晶表示装置
RL202～RL205	代表移信リレー
RL901	移信コモンリレー
RL220～RL22n	防排煙制御(D)切替リレー
LD127	防排煙灯(赤)
LDn	地区灯(赤)
LD121	交流電源灯(緑)
LD122	警戒中灯(緑)
LD123	トラブル灯(赤)
LD124	音響強制停止灯(赤)
LD126	スイッチ注意灯(赤)
LD133	防排煙運動停止灯(赤)
LD137～LD140	諸警報灯1～諸警報灯4(赤)
LD141	蓄積解除・蓄積中灯(赤)
LD142	試験スイッチ灯(赤)
LD145	点検スイッチ灯(赤)
LD146	試験復旧スイッチ灯(赤)
LD147	トラブル履歴確認灯(赤)
LD148	移信停止灯(赤)
LD151	防排煙停止スイッチ灯(赤)
LD152～LD155	OP1灯～OP4灯(赤)
S101	受信機音響停止スイッチ
S104	復旧スイッチ
S107	蓄積解除スイッチ
S108	点検スイッチ
S109	実行スイッチ
S110	戻るスイッチ
S111	▲(上)選択スイッチ
S112	▼(下)選択スイッチ
S113	試験復旧スイッチ
S114	試験スイッチ
S116	トラブル履歴確認スイッチ
S117	あき回線登録スイッチ
S118	移信停止スイッチ
S121	防排煙運動停止スイッチ
S122～S125	OP1～OP4スイッチ
SW2	機能設定スイッチ
ZNR,RA301	サージアブソーバ

定格・仕様

常用電源	AC100V 50/60Hz (P1-P2)	回線数	3	5	10
		消費電力: 警報時最大	11VA		
		消費電力: 警報時最大	84VA		
予備電源	DC24V 1200mAh ニッケル・カドミウム蓄電池 (充電方式:トリクル充電 充電電流27mA) BV981001(受託評価適合品)				
副受信機電源	DC 24V 150mA (DI+・DI-)				
感知器電圧・電流	DC 24V 短絡電流27.5mA 外部配線抵抗 往復50Ω以下(DLc-DL1…DLn)				
終端抵抗器	10kΩ (BV 9840010) (5.1kΩ・20kΩも対応可能) ※1				
感知器接続数 ※2	<ul style="list-style-type: none"> ●当社熱サイバーセンサ(A) : 1回線当たり80コまで(20コ) ●当社煙サイバーセンサ(B) : 1回線当たり30コまで(7コ) ●当社煙サイバーセンサ(熱検知機能付、2信号)(C) : 1回線当たり20コまで(5コ) ●当社光電式分離型感知器(D) : 1回線当たり1セットまで(接続不可) ●当社炎感知器(E) : 1回線当たり20コまで(5コ) <p>①内の接続数は、終端抵抗器設定が「20k」時の接続個数になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●上記感知器が混在する場合は、下記の方程式により接続数を決めてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・f5.1k/10k設定時: $A+4(C+E)+\frac{8}{3}B \leq 80$、$D=1$ ・「20k」設定時: $A+4(C+E)+\frac{8}{3}B \leq 20$ 				
主音響装置	警報音(断続音)+音声メッセージ DC318mA(DC5V)・85dB/m以上				
副受信機 ※3 ※4	無電圧接点出力(IC・I1…I1n) 接点容量DC 30V 1Aまで				
ロック接続容量	DC24V 1回線当たり最大容量2Aまで 全回線同時作動最大容量2Aまで(DC-D1…Dn)				

■内部回路図



① スイッチおよびリレーの接点方向は平常時の状態を示します。

代表移信接点 ※5	無電圧接点4系統(DFc1-DFa1・DFb1)(DFc2-DFa2・DFb2)(DFc3-DFa3)(DFc4-DFa4)接点容量DC 30V 1Aまで
蓄積時間	公称蓄積時間60秒(煙感知器…60秒 熱感知器…10秒)
諸警報電圧・電流	DC24V 短絡電流5mA 外部配線抵抗 往復50Ω以下(NC-N1…N4)
増設スピーカー ※6	光る増設スピーカー…3台/増設スピーカー…1台 配線長さ φ0.9…50m以下 φ1.2…100m以下
使用周囲温度	0℃～+40℃
質量	露出型…8kg/埋込型内器…9kg

- ※1 20kΩの終端抵抗器が接続されている場合、終端抵抗器設定を「20k」にし、それ以外は「5.1k/10k」に設定してください。また、20kΩとそれ以外(10kΩ・5.1kΩ)との混在は不可となります。
- ※2 熱感知器(一般型熱感知器・差動式スポット型感知器(試験口付))は1回線当たりの接続数の制限はありません。
- ※3 副受信機と接続する場合は、P型1級用副受信機内器(BVJ61□□11H)(□□は回線数)(別売)に同梱されている「移信用リレーユニット」を運動操作盤に取り付けただけで、運動操作盤と副受信機間の接続を行ってください。
- ※4 P型2級用副受信機内器(BVJ62051HK)(別売)に同梱されている「移信リレーユニット」は、接続できません。P型2級用副受信機と接続する場合は、移信用リレーユニット10回線用(BVJ881110)(別売)を使用してください。
- ※5 代表移信接点は、設定により用途を変更することができます。出荷時はすべて防排煙感知器代表設定になっています。(詳しくは設定マニュアルを参照してください。)
- ※6 増設スピーカーは主音響、トラブル音響、作動音響が鳴動します。(一斉試験、点検時音響は鳴動しません。)増設スピーカーの鳴動は運動操作盤の主音響鳴動と同じタイミングで警報内容を鳴動します。(鳴動停止も同じタイミングです。)光る増設スピーカーの場合は、鳴動と同時にフラッシュランプが点滅します。(点滅のみ、最大約2分間で消灯します。)